

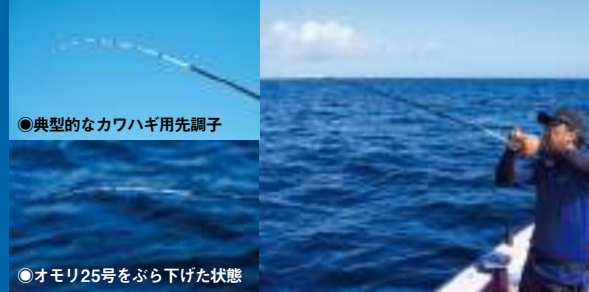
# ステファーンSS *Stephano SS*



●穂先に鋭敏高感度カーボンソリッド“タフテック”を採用、さらに穂先を“ハイパワーX”で締め上げた“ハイパワーXソリッド”を搭載。トップモデルに引けを取らない

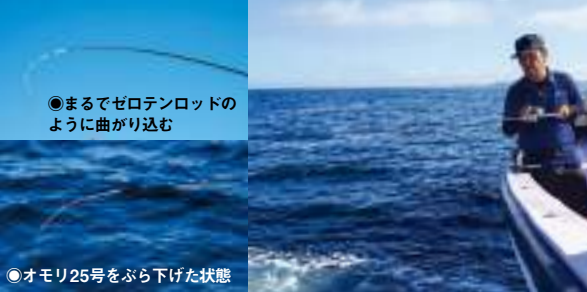
目感度、手感度を実現させ、穂先部にXガイド、グリップにはXシートフロントトリガーを装備したハイコストパフォーマンススロッド。2ピース設計で携行性にも優れる。

## MH175 ★カワハギ竿らしい硬めの定番



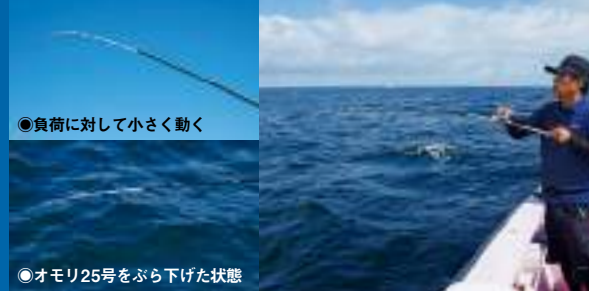
●典型的なカワハギ用先調子  
●オモリ25号をぶら下げた状態  
★鈴木孝の印象＝目感度3：手感度7  
Spec◆全長1.75m、継数2、仕舞寸法92cm、自重74g、オモリ負荷20-40、本体価格4万円

## S180 ★シリーズ中最もソフトなモデル。



●まるでゼロテンロッドのように曲がり込む  
●オモリ25号をぶら下げた状態  
★鈴木孝の印象＝目感度9：手感度1  
Spec◆全長1.80m、継数2、仕舞寸法94.5cm、自重70g、オモリ負荷20-35、本体価格3万9500円

## HH170 ★シリーズ中最も硬い手感度重視モデル

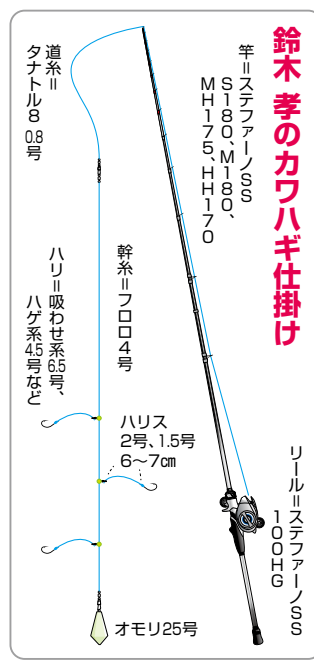


●負荷に対して小さく動く  
●オモリ25号をぶら下げた状態  
★鈴木孝の印象＝目感度1：手感度9  
Spec◆全長1.70m、継数2、仕舞寸法89.5cm、自重73g、オモリ負荷20-40、本体価格4万5000円

## M180 ★軟らかめの定番となるのが M180



●初動がスムーズでアタリを弾くことが少ない  
●オモリ25号をぶら下げた状態  
★鈴木孝の印象＝目感度7：手感度3  
Spec◆全長1.80m、継数2、仕舞寸法94.5cm、自重74g、オモリ負荷20-35、本体価格3万9500円



**鈴木孝のカワハギ仕掛け**  
●目感度重視のステファーンSS・S180  
●手感度重視のステファーンSS・MH175  
イブありますが、そのいずれも最新のカワハギシーンで通用するバランスに仕上がっていますから、どれか一本でもシーズンを通してカワハギ釣りを楽しむことができます。ぜひ、自分好みの竿で、より深くカワハギ釣りを楽しんでほしいと思います。  
ちなみにこの日、竹岡沖で鈴木が最もテンポよくカワハギを掛け続けた竿は、ステファーンSS M180であった。

テランでも一線級の竿になるはずです」  
MH175の手感度と食い込み性能のバランスのよさは、フラッグシップモデル・ステファーンリミテッド譲りといえるだろう。「そしてオモリを底から離して釣る、または硬い竿が好きで手感度を求める方にはHH170。今日も宙に浮いている場所では気持ちよく釣れました」  
小型が瞬時にエサをかすめ取るかと思えば、スローに誘われないとサワリも出さない。同じ竹岡沖でも時間や場所でカワハギの食いは変わる。そんな中、鈴木はコンスタントに釣り続ける。「ステファーンSSは硬軟4タ

▲小型はもちろん、おいしくいただく分以外はリリース  
ソフト寄りの定番がM180とすれば、ハード寄り、硬めの定番はMH175となる。  
「MH175は手感が7、目感が3のイメージ。アタリの感触や引きが手にダイレクトに伝わってくるため、カワハギ釣りらしい楽しさを存分に味わえます。船釣り自体初めてという方はもちろんですが、腕に覚えのあるべ

# TECHNOLOGY OF S

最新シマノテクノロジーの実証  
テクノロジー・オブ・エス vol.90

## あなたの手に合うのはどのSS? ステファーンSS ベストチョイス

●シマノ最新タックルを手に入手が実釣する「テクノロジー・オブ・エス」。今回はカワハギ専用竿「ステファーンSS」全4モデルを鈴木孝が解説する。



▲どの竿も最先端のカワハギ釣りにマッチしているから外せない

★ステファーンSS・M180で聞き上げつつ食い込ませていく。この穂先が秀逸、と鈴木孝

**[Xシートフロントトリガー]**  
●グリップ前部のトリガーに人差し指、あるいは中指を掛けて支持することで、より繊細なロッドワークと快適な巻き上げを可能とし、キャスト時の安定感も増す



**[Xガイド]**  
●軽さ、トラブルレス、キャスト性能を高次元に融合させたシマノオリジナル高性能ガイド。立体構造で糸絡みを抑えつつ、糸抜けもよい



「ひとこと言えば、ステファーンSSは全てのシーズン、シチュエーション、そして好みに対応できるカワハギ竿です」  
9月の竹岡沖、水深12メートル。鈴木孝はニューロッド・ステファーンSSの中から最もソフトなS180から釣り始めた。「S180は食いが入りやすいカワハギに自然に吸い込ませてハリ掛かりを促す絶妙なセッティングの、目感度重視のモデルです。とくにこの穂先、見てください。トップモデル並みの仕上がりにです」  
鈴木孝はあつと言つ間に数枚をキャッチすると続いて2番目に軟らかいM180にチェンジ。「ステファーンSSの4本の中



▲いい日は最盛期。ヒレの整った好コンディションの個体が増えてきた